

瑞浪市道の駅基本計画 骨子(案)

令和3年4月

瑞浪市

《目 次》

1 道の駅基本計画策定の目的.....	1
2 道の駅整備に関する前提条件の整理	2
2.1 国道 19 号瑞浪恵那道路の概要	2
3 道の駅のコンセプト	3
3.1 道の駅整備の基本方針	3
3.2 道の駅のコンセプト.....	3
4 道の駅の導入機能	4
4.1 道の駅への導入機能.....	4
4.2 導入機能の規模.....	5
4.3 施設配置計画.....	6
5 道の駅の整備・運営方針の検討	9
5.1 道の駅開駅に向けたロードマップ（案）	10
6 瑞浪市道の駅検討委員会について	11

1 道の駅基本計画策定の目的

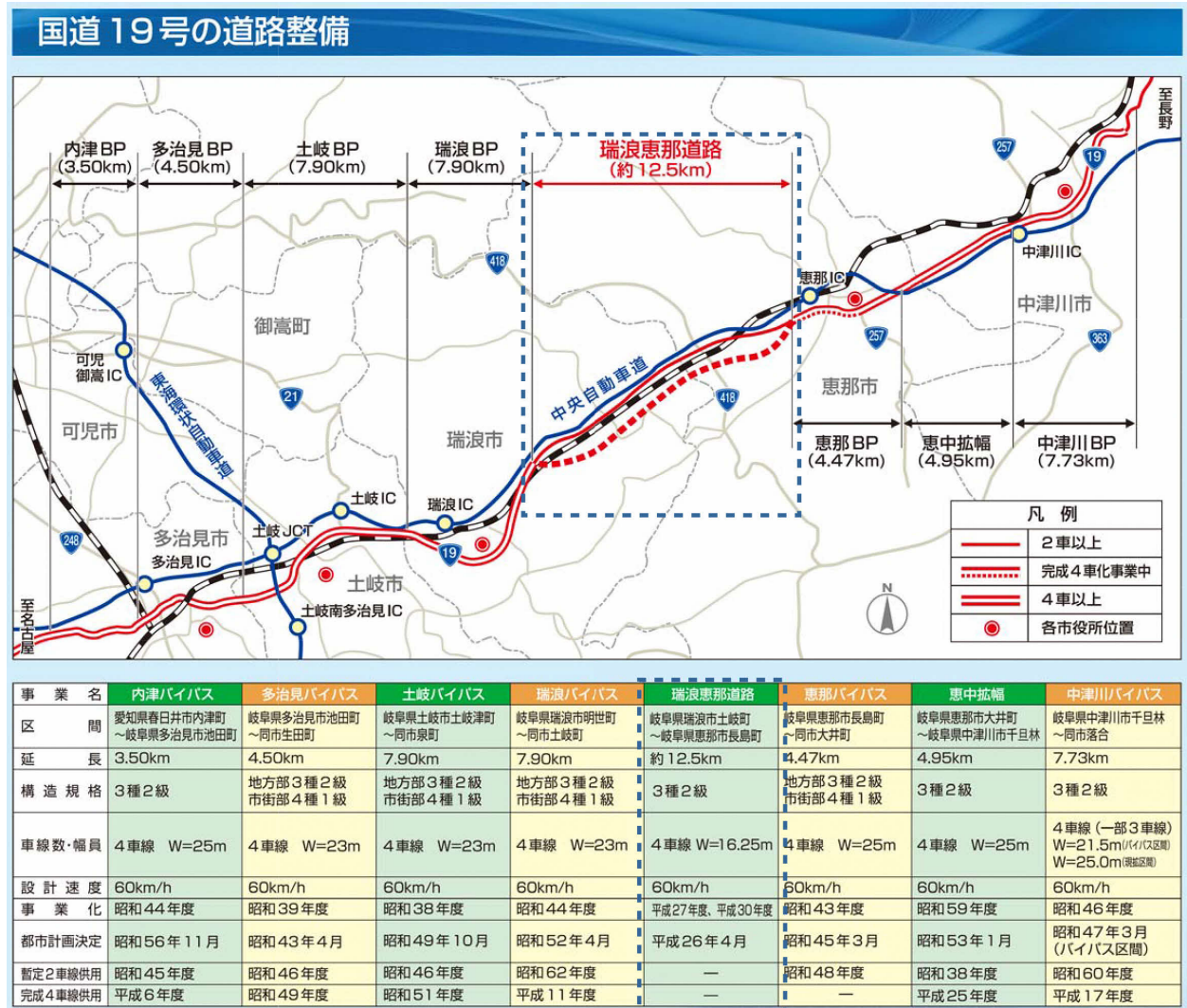
目的を記載

2 道の駅整備に関する前提条件の整理

2.1 国道 19 号瑞浪恵那道路の概要

国道 19 号は、名古屋市を起点とし、岐阜県東部（東濃地方）を通過して長野市に至る、延長約 270 km の幹線道路です。

道の駅の計画にあたって隣接することを予定している国道 19 号瑞浪恵那道路は、瑞浪市と恵那市を結ぶ延長約 12.5 km の区間で、渋滞・事故等の解消や、リニア中央新幹線の開業時（令和 9 年（2027 年）予定）の地域振興に寄与するもので、平成 30 年（2018 年）4 月に全区間事業化されています。



出典：国土交通省 中部地方整備局 多治見砂防国道事務所

※ここで、瑞浪市の道の駅が担う役割として『上下分離型（下り配置）』の考え方を示す

3 道の駅のコンセプト

基本構想では、道の駅コンセプトを次のように定めています。

3.1 道の駅整備の基本方針

道の駅の基本構想策定に向けて、以下の3つの基本方針を掲げます。

○未来のまちづくりに向けた **「釜戸地区の「暮らしの拠点」の一翼を担う道の駅」**

⇒地域活性化の拠点として、釜戸地区及び瑞浪市のまちづくりの観点から、どのような道の駅が良いのかを考えるだけでなく、めざすまちの姿の実現に寄与する道の駅とします。

○集客力を高める **「立ち寄り目的となる道の駅」**

⇒瑞浪市の道路利用者の玄関口として、新たに整備する国道19号瑞浪恵那道路の利用者がふと立ち寄るだけでなく、日常的に地元の人たちが利用し、また、遠方からも目的地として訪れていただけるような道の駅とします。

○柔軟に仕掛けが更新できる **「地域主体の道の駅」**

⇒開駅までの時間を、段階的な施設整備期間と位置づけ、地域ニーズに応じた柔軟な対応ができるよう、検討段階から開設・運営に至るプロセスを地域と共有し、積極的に関わることでできる道の駅とします。

3.2 道の駅のコンセプト

上記の基本方針を踏まえ、道の駅のコンセプトを以下のように設定します。

“まちとともに育つ道の駅”

4 道の駅の導入機能

4.1 道の駅への導入機能

○道路利用者への快適なサービス提供を前提としながら、道の駅に導入すべき機能を以下のよう
に整理しました。

暮 釜戸地区の 住民の暮らしを支える

- 日常の買い物や交通利便性の確保
よろずや(日用品やサービス等が手に入る小売店、**コンビニエンスストア**)、交通拠点
- 災害時の安全性の確保
避難施設、備蓄倉庫
- 多様な楽しみ方の創出 (暮らしの質を高める)
子どもが安心して遊べる**芝生広場**、多様な飲食店



道の駅お茶の京都 みなみやましろ村(京都府)



なぎさのテラス(滋賀県)



防災倉庫(瑞浪市)

賑 釜戸地区から 賑わいを創り出す

- 既存資源の活用
自然に囲まれた広場、上平用水や佐々良木川を活かした水辺空間の創出、**きなあつた瑞浪や周辺飲食施設等との連携した食材や料理等を楽しめるグランピング施設**
- 釜戸地区の個性の発揮
釜戸の特産品の開発、特産品を活用した**地域物産店(地域の商品を販売、クラフトビール、ジェラートなど)**、農業等と連動した体験プログラム、地元の祭りとの連携、イベント等による新たな個性の創出
- 釜戸地区住民と来訪者の交流促進
カフェ等の**テント等の屋台風の飲食空間**、交流拠点づくり(広場、イベントスペース等)、音楽やアート等多様なイベントの実施



清流平和公園(岐阜県)



4.2 導入機能の規模

○道路利用者が道の駅に立寄ることで、新たな需要が生まれるため、これまで地域内で商圈を成立させることが難しかった機能を道の駅に導入できる可能性があります。

○道路利用者と地域住民の双方の利用を想定した場合の施設規模は以下のとおりです。

表. 導入機能一覧表 (1/2)

導入機能の基本方針	導入機能	導入機能の整備イメージ	規模 (㎡) ※1		備考	
			屋内	屋外		
釜戸地区の住民の暮らしを支える	日常の買い物や交通利便性の確保	よろずや	200	-	地元組織による経営を検討	
		トイレ	150~300	-		
		情報施設、休憩所	100~200	-	20分圏内の宿泊施設（空家改修を含む）の受付が可能	
		駐車場	-	10,000~20,000	車路・歩道及び駐輪場を含む	
	全性の確保	災害時の安	備蓄倉庫	100	-	
	み方の創出	多様な楽し	芝生広場	-	2,000~3,000	

表. 導入機能一覧表 (2/2)

4 道の駅の導入機能

導入機能の基本方針		導入機能	導入機能の整備イメージ	規模 (m ²) ※1		備考
				屋内	屋外	
釜戸地区から賑わいを創りだす	既存資源の活用	グランピング施設	<ul style="list-style-type: none"> • 流れの穏やかな佐々良木川付近の川沿いにグランピングができるテントや簡易施設を整備。 • 飲食施設等から提供される食材や料理等を楽しめる高級感のあるアウトドアを整備する。 	-	1,000~ 2,000	
		親水広場	<ul style="list-style-type: none"> • 計画地内を流れる農業用水路を活用し、良好な水景空間を創出する。 • 水生生物の観察や魚のつかみ取り等が可能となる水辺空間を整備する。 	-	200	河川管理者（県）との連携を検討する。
	釜戸地区の個性の発揮	飲食施設（コミュニティ広場）	<ul style="list-style-type: none"> • 周辺の飲食店との連携し、休祝日をターゲットとしたテント等の屋台風の飲食空間に地元チャレンジショップとして様々な飲食ブースの出店を可能とする空間を整備。 • 床面に給排水及び電源供給できる設備を整備する。最低限の厨房及び冷蔵庫は建築物内に整備する。 	50	500	人気店となった場合は建築物を設置し出店する。
		特産品販売施設	<ul style="list-style-type: none"> • 地元の特産品としてクラフトビールやジェラート等を販売できる特産品販売スペースを整備する。 • 市内の農産物を施設内で飲食できるよう、直売所等との連携を行う。 	100	-	人気店となった場合は建築物を設置し出店する。
交流促進	釜戸地区住民と来訪者の	イベント広場	<ul style="list-style-type: none"> • 休祝日をターゲットとし、地元をアピールするとともに、リピーターを確保する様々なイベントを開催する。 • イベントは、地元主体でプログラム化し、夏祭り、音楽フェス、まちあるき、旬の食材祭、等を継続的に開催する。 • イベント器材等を収納する倉庫を整備する。 	50	800	導入時には、地元組織への何らかの助成を検討する。
その他	緑地等		<ul style="list-style-type: none"> • 良好な景観を形成するための緑地、遊歩道、河川管理用道路及びエントランス広場等を整備する。 	-	3,000~ 5,000	河川管理者（県）との連携を検討する。
合計				750~ 1,000	17,500~ 31,500	

※1. 規模は現時点での想定であり、関係機関とのレイアウト協議や運営収支検討等を踏まえ、今後、見直しが必要である。

4.3 施設配置計画

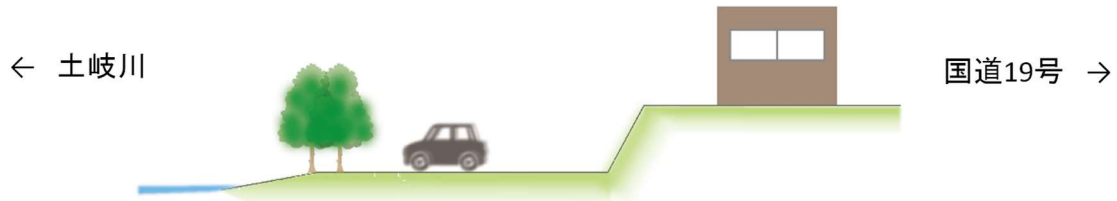
1) 施設配置の考え方

(1) 施設の配置イメージ

敷地造成は計画地周辺の景観を生かした、河川敷と敷地との一体的な景観形成をめざし、出来る限り地形を生かす計画とします。

施設配置は高台となっている敷地南側に施設を整備する、又は建物の構造を工夫することにより、水害時の安全性に配慮した計画とします。

ただし、今後の詳細検討により、景観や水害時の安全性だけでなく、交通安全性、施設の利便性等についても考慮し、適切な施設配置について検討します。

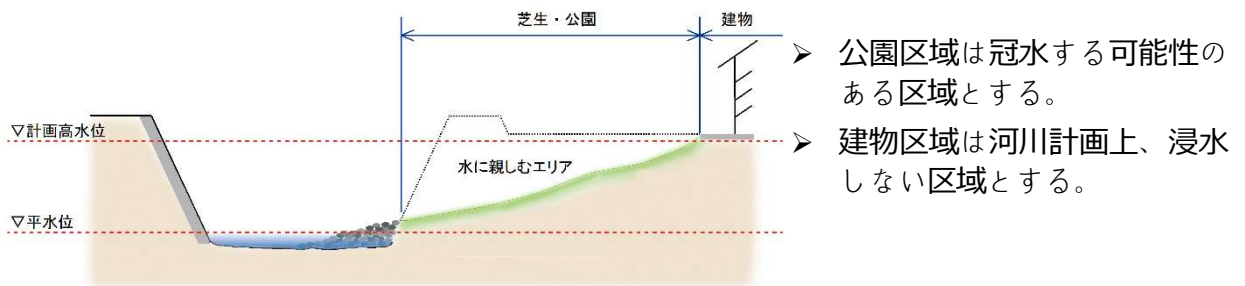


図表1 断面イメージ

(2) 広場の整備イメージ

土地の魅力を引き出し、水に親しみやすい広場（親水広場）とするため、河川敷と敷地とが分断されることなく、なだらかにつながる広場の整備をめざします。ただし、河川管理上の課題もあるため、今後の協議状況に応じて良好な景観と安全性の両立をめざします。

また、浸水頻度を下げるため、河川改修の実施について詳細な検討を行います。



図表2 広場の整備イメージ

2) 動線計画

3) 施設配置案

4) 完成イメージ

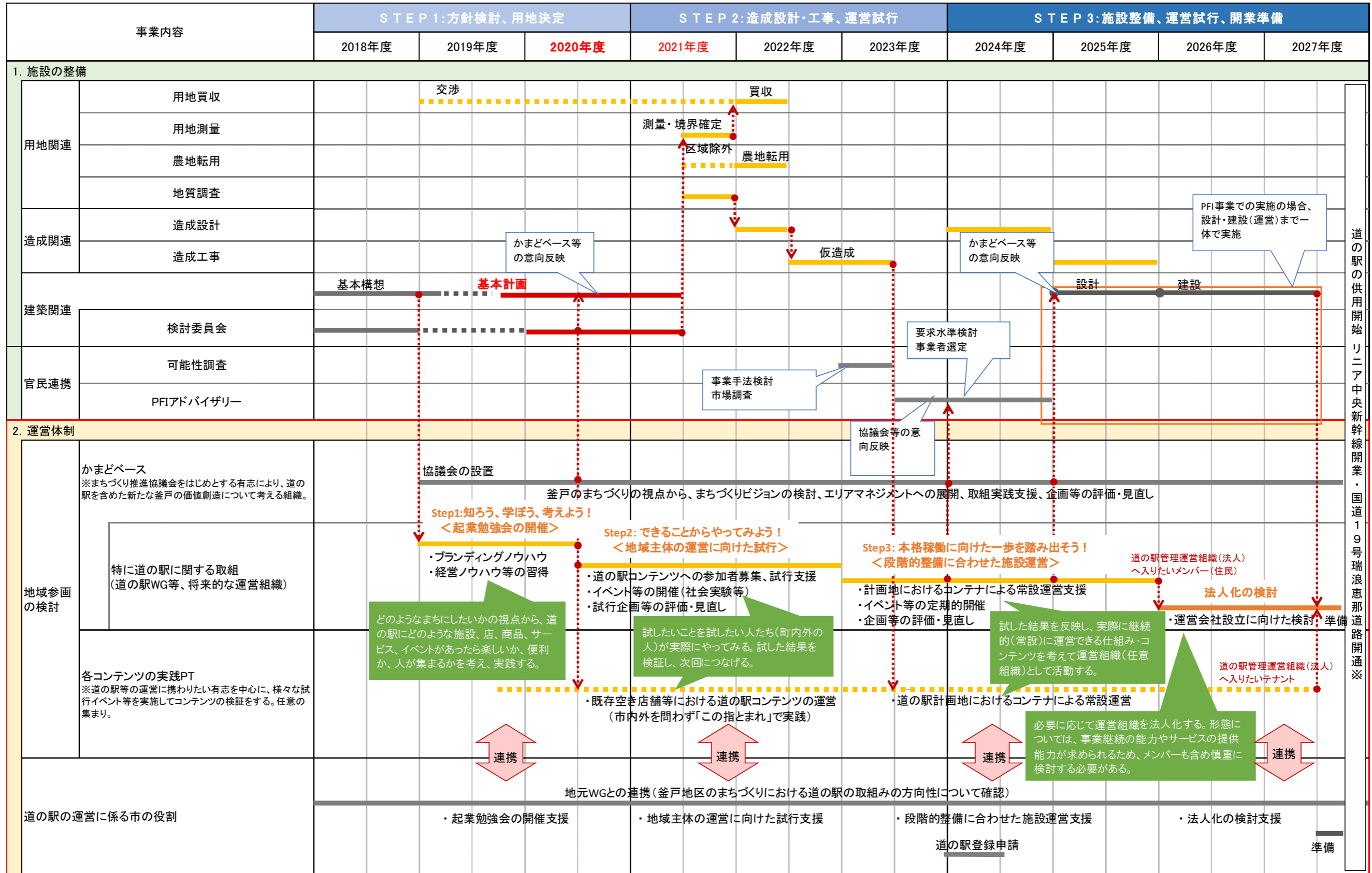
資料-3 施設配置計画の内容を記載

5 道の駅の整備・運営方針の検討

資料-2 道の駅の整備・運営方針の検討 の内容を記載

5.1 道の駅開駅に向けたロードマップ（案）

道の駅整備と並行して、住民が主体となった道の駅運営組織設立に向けたロードマップを検討しました。



※国道19号瑞浪恵那道路開通については、瑞浪市として要望している時期を示したものです。

図表 3 道の駅開駅に向けたロードマップ（案）

6 瑞浪市道の駅検討委員会について

- 瑞浪市道の駅検討委員会委員
- 瑞浪市道の駅検討委員会開催概要